

# 第 82 回 院内コンサート

## ♪♪ 演奏者プロフィール ♪♪



もとお

ピアノ：本尾 かおるさん

第 31 回（平成 27 年 1 月ご出演）



武蔵野音楽大学を経て同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学。同大学を最優秀の成績で卒業。マリア・カナルス国際コンクール入賞の他、オーケストラとの協演、リサイタル、NHK テレビ、NHK-FM、自由ベルリン放送局での録音、編曲など幅広い活動が続けている。川崎音楽賞最優秀伴奏者賞を受賞するなど、室内楽でも厚い信頼を得ている。CD アルバムは、2014 年「ショパン・エチュード集」に続き、2017 年「バッハ・トランスクリプションズ」をナミ・レコードよりリリース。現在、昭和音楽大学講師として後進の指導にあたる他、かながわ音楽コンクール等の審査員を務める。横浜音楽文化協会会員。

### <プログラム>

メンデルスゾーン：「無言歌集」より“甘い思い出”作品 19-1  
“眠れぬままに”作品 19-5  
“浜辺で”作品 53-1

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第 8 番 八短調 「悲愴」作品 13

メンデルスゾーン：ロンド・カプリチオーソ 木長調 作品 14

日時：平成 31 年 4 月 20 日（土）13 時 30 分～  
場所：亀田病院 新館待合ホール

協力：横浜音楽文化協会

# 第 82 回 院内コンサート

## プログラム(曲目解説)

### ♪メンデルスゾーン:「無言歌集」より

本日のコンサートは始めに、春の季節にふさわしいメンデルスゾーンの「無言歌集」から小品を 3 曲選びました。1809 年生まれのメンデルスゾーンは、ショパンやシューマン、リストらと並んで、19 世紀ロマン派を代表する作曲家です。全 48 曲からなる「無言歌集」は、「言葉(歌詞)のない歌」という意味の題名が暗示するように、豊かな詩情をピアノがまるで歌うかのように奏でてゆく歌謡的作品集です。

### ♪ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第 8 番 八短調 「悲愴」作品 13

ベートーヴェンの全 32 曲のピアノ・ソナタの中でも有名な「悲愴」ソナタは、ベートーヴェンが 27 歳から 28 歳頃にかけて作曲した創作初期時代の傑作です。3 つの楽章からなり、第 1 楽章冒頭の序奏が「悲愴」という題名そのものの、深い悲しみを表す八短調の和音で始まります。穏やかな第 2 楽章の美しい旋律も有名です。第 3 楽章では感情を抑えたような哀しみの旋律が曲を締めくくります。

### ♪メンデルスゾーン:ロンド・カプリチオーソ ホ長調 作品 14

コンサート最後の曲は、再びメンデルスゾーンの優美な作品をお楽しみください。

抒情的な序奏と華麗なロンドからなり、まるで妖精が飛び回るかのような、繊細で洗練された雰囲気溢れていることから、広く愛奏される名作です。

